

令和5年9月27日

第6学年保護者様

加古川市立神野小学校  
校長 安茂 聖二

## 令和5年度 神野小学校 全国学力・学習状況調査の結果について

秋晴の候、保護者の皆様におかれましては益々ご清祥のこととお喜び申しあげます。

平素は、本校の教育活動にご理解とご協力をいただきありがとうございます。

さて、先日お返ししました全国学力・学習状況調査の結果について、本校の分析結果と今後の取り組みについてお知らせします。この分析結果を踏まえて、全教職員で児童の学力をさらに伸ばせるよう努めてまいります。

今後とも、児童の学力向上とより良い学習習慣の定着のために、ご家庭のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

### 1 学力調査の結果について

国語科は、全国平均とほぼ同程度でした。特に、資料に書かれている内容として適切なものを選択することや、「比べて」という漢字について送り仮名に注意して正しく書き直したものを選択することにおいて優れていました。しかし、原因と結果等の「情報と情報の関係」を判断したり、資料に書かれている問題点と解決方法やグラフを基にして根拠を示しながら自分の考えを書いたりすることや、敬語の使い分けに関する理解においては課題が見られました。

算数科は、全国平均とほぼ同程度で、特に、伴って変わる二つの数量について表から変化の特徴を読み取って必要な数値を求めることや、比例の関係になっていないことを説明する文の空欄部分に表の中の適切な数値の組を当てはめること、 $50 \times 40$ の計算を正確に処理すること等がよくできていました。一方、高さが等しい三角形について底辺と面積の関係を基に面積の大小を判断して理由を言葉や数を用いて記述すること、わり算の筆算における各段階の商の意味や30%という割合についての理解、正三角形の性質に関する知識の定着といった面に課題が見られました。

### 2 学習状況調査の結果について

「朝食をきちんと取る」「決められた時刻に就寝・起床をしている」という項目で全国平均以上に肯定的な回答が多く、ほとんどの児童が規則正しい生活が送れていることを示す結果となっています。また、「学校に行くのは楽しい」「地域の行事に参加している」「自分には良いところがある」といった項目でも全国平均以上に肯定的な回答が多いのも特徴の一つであります。これらは、学校での人間関係の良好さの現れであり、また、家庭や地域等での多くの方々からの支援を受け、前向きで素直にがんばる神野っ子の良い姿勢の現れでもあると感じます。

また、家庭で1時間以上学習する児童の割合（平日で66.7%、休日は73.3%で、1時間未満も含めると平日・休日共に98.3%）や、平日に例えわずかでも読書に取り組む児童の割合（88.7%）も全国平均より多く、今後も良き習慣として大切にしたいと思っております。

### 3 今後の取り組みについて

#### <学力面>

朝の学習時間や家庭学習を活用し、漢字を含めた国語科の基礎的な言語事項、算数科の計算や用語等の基礎知識などについて繰り返し復習し、さらなる定着を図ります。また、文章から読み取った情報を整理し、考えを条件に合わせた的確に表現する力を培ったり、論理的思考力を高め、考えを正確に説明できる力を育成したりするための授業改善に取り組みます。

#### <学習状況面>

これからも友達との絆や規則正しい生活リズムを大切に、また、家庭での学習や読書の習慣をさらに充実させるための取り組みも進めていきたいと思っております。ご協力よろしくお願いいたします。